

6. 業績目録

(注：今号より業績はその年の分のみを示す。今号は2006年のみ。そのため、前年号に掲載した2006年分も再掲載した。2007年分は次号に掲載。)

欧文業績

993. Desai, D., Khandeparker, L. and Shirayama, Y. 2006. Larval development and metamorphosis of *Balanus albicostatus* (Cirripedia, Thoracica); implications of temperature, food concentration and energetics. *Journal of Marine Biological Association of U. K.*, 86: 335-343.
994. Shimode, S. and Shirayama, Y. 2006. Diel vertical migration and life strategies of two phytal-dwelling harpacticoids, *Ambunguipes rufocincta* and *Eudactylops spectabilis*. *Plankton Benthos Research*, 1: 42-53.
995. Watanabe, Y., Yamaguchi, A., Ishida, H., Harimoto, T., Suzuki, S., Sekido, Y., Ikeda, T., Shirayama, Y., Takahashi, M., Ohsumi, T. and Ishizaka, J. 2006. Lethality of increasing CO₂ levels on deep-sea copepods in the western north Pacific. *Journal of Oceanography*, 62: 185-196.
996. Kubota, S. 2006. Hydrozoan fauna of the Nansei Islands. *Proceedings of 10th International Coral Reef Symposium*: 197-201.
997. Kubota, S., Sanpanich, K and Putschakarn, S. 2006. Notes on high numbers of pearls and blister pearls from *Perna viridis* and preliminary survey of bivalve-inhabiting hydroids in the eastern coasts of the Gulf of Thailand. *Biol. Mag. Okinawa*, 44: 39-44.
998. Miglietta, M. P., Gravili, C. and Kubota, S. 2006. Unique behaviours of the hydroids of *Eugymnanthea* (Hydrozoa, Leptomedusae, Eirenidae) living in the mantle cavity of bivalves. *Thalassia Salentina*, 29: 107-112.
999. Miyazaki, M. and Biliński, S. M. 2006. Ultrastructural investigations of the ovary and oogenesis in the pycnogonids, *Cilunculus armatus* and *Ammothella biunguiculata* (Pycnogonida, Ammotheidae). *Invertebrate Biology*, 125: 346-353.
1000. Kinjo, S., Uehara, T., Yazaki, I., Shirayama, Y. and Wada, H. 2006. Morphological diversity of larval skeletons in the sea urchin family Echinometridae (Echinoidea: Echinodermata). *Journal of the Marine Biological Association of the UK* 86: 799-816.

(993-999 は、前年号と同じ)

邦文業績

559. 樫山嘉郎・久保田 信. 2006. 細長型ココヤシの和歌山県白浜町への漂着追加記録. 漂着物学会会報, (16): 7.
560. 岸田拓士・田名瀬英朋・久保田 信. 2006. 和歌山県白浜町椿の海岸に漂着したスジイルカ *Stenella coeruleoalba*. 南紀生物, 48(1): 30.
561. 久保田 信・河村真理子・上野俊士郎. 2006. エチゼンクラゲ(刺胞動物門、鉢虫綱、根口クラゲ目)の和歌山県田辺湾への初出現. 南紀生物, 48(1): 57-59.
562. 久保田 信. 2006. ボラは何回までの連続したジャンプができるか? くろしお, (25): 5
563. 久保田 信. 2006. 日本の唄の歌詞に登用された海岸性鳥類. くろしお, (25): 7-12
564. 久保田 信. 2006. 和歌山県白浜町の海岸道路で最近事故死したニホンテン. くろしお, (25): 15.
565. 久保田 信・岡部剛機. 2006. 海洋生物が日本の唄の歌詞に登場する曲: 2006年追加曲. くろしお, (25): 17-18.
566. 久保田 信・山口一夫・岸田拓士. 2006. 和歌山県田辺湾に迷入したシワハイルカ

- (マイルカ科)と推定されるイルカの記録. くろしお, (25): 19-20.
567. 中西弘樹・久保田信・中西こずえ. 2006. ニガカシュウ (ヤマノイモ科) のむかごの漂着と海流散布. 漂着物学会誌, 4: 15-18.
 568. 中西弘樹・久保田信・松本敏郎・伊藤正一. 2006. ワニグチモダマ *Mucuna gigantea* (Wild.) DC. (マメ科) の種子の日本本土への漂着. 漂着物学会誌, 4: 41-42.
 569. 久保田信. 2006. 和歌山県田辺湾とその周辺海域へのハシボソミズナギドリ (ミズナギドリ科) の漂着. 漂着物学会誌, 4: 43-44.
 570. 久保田信・李 知珉・張 千永: 韓国沿岸におけるカイヤドリヒドラ類 (ヒドロ虫綱, 軟クラゲ目) の分布不在の謎. *Bulletin of the Biogeographical Society of Japan*, 61: 71-74.
 571. 久保田信・田名瀬英朋. 2006. 和歌山県中南部域で採集されたマミズクラゲ (ヒドロ虫綱, 淡水クラゲ目, ハナガサクラゲ科) の成熟クラゲの生物学的記録. *Bulletin of the Biogeographical Society of Japan*, 61: 75-79.
 572. 久保田信. 2006. 日本産ヤワラクラゲ (刺胞動物門, ヒドロ虫綱, 軟クラゲ目) の生活史逆転. *Bulletin of the Biogeographical Society of Japan*, 61: 85-88.
 573. 久保田信. 2006. サツマゴキブリ和歌山県白浜町の海岸へ漂着. *KINOKUNI*, 70: 10-11.
 574. 久保田信. 2006. 田辺市新庄公園の灯火に飛来した鱗翅類. *KINOKUNI*, 70: 23.
 575. 久保田信. 2006. 和歌山県白浜町の漁港で遭遇したウミアメンボ (ウミアメンボ亜科) *KINOKUNI*, 70: 24.
 576. 久保田信. 2006. 和歌山県白浜町沿岸に漂着したコブシメの奇形の小型の甲, 南紀生物. 48 (2) : 134.
 577. 久保田信. 2006. 和歌山県田辺湾に最近漂着した 2 個目のモダマ (マメ科) の種子, 南紀生物. 48 (2) : 168.
 578. 久保田信・田名瀬英朋. 2006. 和歌山県白浜町瀬戸漁港におけるアンドンクラゲ (刺胞動物門, 箱虫綱) の大量発生, 南紀生物, 48 (2) : 144.
- (559-566 は、前年号と同じ。)

著書 (**は前年号と同じ)

- **久保田 信. 2006. 「宝の海から - 白浜で出会った生き物たち」. 233 頁. 不老不死研究会、白浜町、和歌山県.
- **久保田 信. 2006. 「クラゲのふしぎ」 海を漂う奇妙な生態. 255 頁. (共著), 技術評論社, 東京.
- **Caldeira, K., Akai, M., Brewer, P., Chen, B., Haugan, P., Iwama, T., Johnston, P., Kheshgi, H., Li, Q., Ohsumi, T., Portner, H., Sabine, C., Shirayama, Y. and Thomson, J. 2006. Chapter 6. Ocean Storage. In Metz, B., Davidson, O., de Coninck, H., Loos, M. and Meyer, L. (eds.) IPCC Special Report on Carbon Dioxide Capture and Storage. Cambridge University Press, Cambridge, pp. 277-318.

その他の著作 (**は前年号と同じ)

- **久保田 信. 2006. フィールド科学教育研究センター・瀬戸臨海実験所通信. 第 7 回「春の使者の到来とウミガメの受難 - 2005 年度最終月の 3 つの臨海実習 -」 教職員情報 (京都大学), 50: 8.
- **小林亜玲・久保田信. 2006. 日本海南部海域におけるカイヤドリヒドラ類 (刺胞動物門、ヒドロ虫綱) の分布拡大について. 白浜 RC 週報, 第 2207 例会.
- **久保田 信. 2006. 「神秘のベニクラゲと海洋生物の歌 - 不老不死の夢を歌う」. 白浜 RC 週報, 第 2211 例会.

** 深見裕伸・久保田 信. 2006. 「和歌山県海域のサンゴ群集」. 白浜 RC 週報, 第 2217 例会.

** 深見裕伸. 2006. サンゴ礁関連施設探訪「京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所」 日本サンゴ礁学会ニュースレター, 31: 8.

久保田信・梅本信也. 2006. 瀬戸臨海実験所構内における長柱花型カタバミ（カタバミ科）の分布. 瀬戸臨海実験所年報, 19: 41-42.

久保田信・内田紘臣. 2006. 和歌山県田辺湾沿岸およびその周辺海域に産するイソギンチャク目（刺胞動物門, 花虫綱, 六放サンゴ亜綱）の目録. 瀬戸臨海実験所年報, 19: 43-45.

新聞連載記事（**は前年号と同じ）

** 久保田 信. 「地球の住民たち 動物篇」連載 1-41.
(2006 年 1 月 10 日から 11 月 14 日までの毎週 1 回)